

# 白井市文化センターのあり方検討委員会

## 第 4 回 会 議 次 第

日時 令和3年11月5日（金）

午後1時30分から

場所 白井市文化センター2階中ホール

### 1 開会

### 2 委員長挨拶

### 3 報告事項

(1) 各種アンケート・ヒアリングの結果について【資料1】

(2) 公募管理者制度（Park-PFI）等について【資料2】

### 4 議題

(1) 改修方法及び改修費用の提示と今後のあり方について

- ・あり方検討：コスト検討のベース案に関して【資料3-1】
- ・白井市文化センター方針検討【資料3-2】
- ・白井市文化センター概算算定一覧（竹案）【資料3-3】

(2) 検討委員会と市民参加の役割について【資料4】

### 5 その他

### 6 閉会

1. 各種アンケート、ヒアリング等の結果について

あり方検討の参考となる基礎調査結果、関係者や市民の意見などを整理

1-1. ヒアリング、アンケート結果等の要約

〔参考〕調査等の結果概要

- |                   |        |
|-------------------|--------|
| ① 事業内容と利用状況       | 資料 1-2 |
| ② 運営管理者（職員）の意見    | 資料 1-3 |
| ③ 運営協議会の意見        | 資料 1-4 |
| ④ 市民意見（市民アンケートより） | 資料 1-5 |

1-2. ワークショップ結果（第1回WS かわら版）

資料 1-6

## 1-1. ヒアリング、アンケート結果等の要約

### 1) 運営管理者（職員）ヒアリング

#### ■ 概要

- 大ホールの天井など現行の建築基準法に適合していない箇所があるほか、竣工時から更新されていない設備機器類、剥離や雨漏りの見られる外壁周りなど、施設の老朽化に伴う支障が多数。
- このほか、時代のニーズや新技術への対応（バリアフリー、トイレ、LED 照明、WIFI 環境等）、各種動線、諸室の規模や設備、内装や建具の仕様等、使い勝手や維持管理の点で改善が望まれる建築計画上の課題も多い。

#### ■ 各施設の主要課題

大ホール	特定天井対策、舞台設備の更新
中ホール	上下階への音漏れ、舞台設備の更新
図書館	閲覧席の構成、本の日焼け防止、児童コーナーの反響防止、 電動書庫の動作に不具合、1階のトイレが図書館内にしかない
郷土資料館	展示ケースの劣化、収蔵庫が不足・空調/消火設備変更
プラネタリウム	椅子のリクライニング故障、椅子幅を広くしたい
共通	壁のクラック・雨漏り・結露、庇・タイルの剥落、 設備機器の全更新が必要

### 2) 運営協議会ヒアリング（4施設運営協議会）

#### ■ 全体（共通）

- 文化センターは市民の学習活動、仲間づくりの場であり、生涯学習都市を標榜する白井市にとって不可欠
- 若い世代、対外的にアピールポイントとして重要
- 現施設の維持が基本で、必要な部分については、拡大、改修、機能向上が望ましい
- 気軽に立ち寄り利用できる場所、地域の文化創造、育成、発信拠点となるべき。
- カフェ機能があると良い
- サービス維持拡大には人員不足

#### ■ 施設別の長所や主な課題

大ホール	○音が良い、800席の客席	△市民利用には規模大
中ホール	○多用途対応、市民利用に良い規模×上下階に音漏れ、舞台狭さ	
図書館		△電子書籍対応
郷土資料館	○展示室、収蔵庫等施設	△諸室不足、自主事業不足
プラネタリウム	○良質なプログラム	

### 3) 市民アンケート

#### ① 利用実態

- 4つの施設のなかでは図書館利用経験のある市民が8割近くで、文化会館6割、プラネタリウム5割と続く。郷土資料館は3割程度にとどまる。
- 来館頻度は数年に1回以下が3割。
- 複合施設だが7割以上がひとつの施設しか利用していない。

#### ② 施設に対する意見

文化会館	○音響が良い	
	○駐車場が広い	△駐車場の不足
図書館	○蔵書数	△蔵書が古い、電子書籍
	○閲覧スペースの居心地が良い	△閲覧スペースの不足
郷土資料館	○施設がきれい	△施設が狭く雰囲気が暗い
	○展示が興味深い	△展示に魅力がない
プラネタリウム	○居心地が良い	△座り心地が良くなかった
	○解説、プログラムが良い	△プログラムが少ない

#### ③ 文化センターのあり方についての意見

##### ■ 文化センターの満足度

- 現在の文化センターに「満足している」のは3割程度で、「どちらでもない」が5割近く。「どちらでもない」理由として、利用経験がないことが多く挙げられている。

##### ■ 新しい文化センターに期待すること

- 「施設の方向性」では、幅広い世代の市民が利用しやすい、集まりやすい施設であることを求める意見が多くみられた。
- 「施設面」では、飲食施設の充実、新しい施設・スペースの設置等の意見が多かった。
- 「事業・運営面」では、催事の充実、情報発信の強化等の意見が多く挙げられた。

#### 4) 利用者アンケート

##### ① 文化団体（市内で活動する 22 団体）

###### ■概要（活動状況と長所、課題）

- 多くの団体が日常的に活動し、公演や発表会、練習や稽古を通じて他団体とも交流している
- 同じ趣味を持つ友人ができたり、地域や世代を超えた交流が生まれることを評価するとともに、活動を通じて地域の活性化や福祉教育への貢献に取り組むことにも意欲を持っている
- 白井文化センターは多くの団体に利用されており、音の良さや規模、駐車場などが評価されている。一方、公共交通の不便さが課題とされている。

###### ■新しい文化会館に対して期待することなど

- ・大ホールの音響環境保全(中学校合唱発表会等は子供たちに感動を与える教育の場)
- ・中ホールの音の問題の解消
- ・駅からの歩行環境改善、公共交通手段確保
- ・飲食できる場所の設置、等

##### ④ 学校関係者（市内 9 小学校、5 中学校、印旛地区教育研究会第三部会音楽部会）

###### ■概要（利用状況と評価、改修への期待や廃止の影響など）

- 利用頻度は高くないが、大半の学校が文化センターの 4 施設を利用している
- 文化センターは、知識の習得、関連分野への興味喚起、豊かな感性の習得など、教育的意義大きい
- 各施設の現状については規模や機能、料金や使いやすさ等、概ね満足している。公共交通が弱点
- 改修等が行われても現状の使い方が継続できること（学芸員含めて）が基本で、施設によっては規模の拡大や機能強化・プログラムの工夫等が期待される
- 施設がなくなると、関連教科の学習に支障が生じるほか、学習機会が失われ、教育的効果の消失、子供たちの学習意欲の喪失を招く

###### ■施設が廃止された場合に生じる問題点

文化会館	学校の団体で使用可能な施設がなくなってしまう、ホールでの合唱や演奏の機会が確保できない
図書館	学校教育で必要な書籍での調べ学習ができなくなる、団体貸し出しができないと国語の学習が成り立たなくなる
郷土資料館	社会科、地域学習で支障が出る、市の歴史を学ぶ場がなくなる
プラネタリウム	理科学習に支障が出る、学習機会の消失

⑤ 図書館ボランティア団体（主に市内で活動する4団体）

■概要（活動状況と長所、課題）

- 全ての団体が1年を通して日常的に活動している
- 同じ趣味を持つ友人ができたり、技術や知識を身につけることができることを評価するとともに、自分達の活動を、鑑賞する人、参加する人に喜んでもらえることにも意欲を持っている
- 蔵書冊数や種類、スタッフの対応、駐車・駐輪台数等が評価されている。

■新しい文化センターに対して期待することなど

- ・子どもがゆったり座ったり寝転がったりして本を読んでも良いスペースが欲しい。
- ・新しい絵本、児童書を増やして欲しい。
- ・児童書の開架スペースを広げて、書庫に入っている本を多く出して欲しい。
- ・学生や子ども、お年寄りがもっと気軽に飲食できる場。

■施設が廃止された場合に生じる問題点

- ・活動の場が失われる

⑥ 郷土資料館（郷土資料館市民学芸スタッフ）

■概要（活動状況と長所、課題）

- 1年を通して日常的に活動している
- 同じ趣味を持つ友人ができたり、技術や知識を身につけることができることを評価するとともに、世代や地域を越えた交流が生まれること、活動で福祉や教育に貢献することにも意欲を持っている
- 開館時間が適している、公共交通機関を使用して行きやすい、駐車・駐輪場が十分ある点が評価されている。一方で、収蔵庫が不足している、設備・備品が整備されていない点が課題とされている。

■新しい文化センターに対して期待することなど

- ・デジタル関係の設備の充実（モニターの設置、動画の生配信等ができる環境）
- ・資料を適切に管理することのできる収蔵庫の整備

■施設が廃止された場合に生じる問題点

- ・白井市における文化財の保管管理を行う施設がなくなり、後世へと白井の歴史を残すことが困難になる。

⑦ プラネタリウム（白井天文同好会）

■概要（活動状況と長所、課題）

- 1年を通して日常的に活動している
- 同じ趣味を持つ友人ができたり、世代や地域を越えた交流が生まれること、活動で地域の活性化に貢献することを評価するとともに、自分たちの活動を、鑑賞する人、参加する人に喜んでもらえること、活動で福祉や教育に貢献することにも意欲を持っている。
- 施設（投映機等）の性能が良い、利用料金が手頃、プログラムが良い、スタッフが良好、駐車・駐輪場が十分ある点が評価されている。一方で、課題は特に指摘されていない。

■新しい文化センターに対して期待することなど

- ・館全体的に暗い雰囲気を感じるので明るい雰囲気になってほしい。

■施設が廃止された場合に生じる問題点

- ・学生の投映の機会やスターキッズなどの子どもが星に触れる機会が減ってしまう。

⑧ 工業団地協議会

- 工業団地内に会議関連施設があるため、文化センターの利用は少ない。
- 事業所活動にとって文化センターの有無はさほど影響がないが、市民にとっては必要な施設との意見あり

①事業内容と利用状況

		文化会館 大ホール	文化会館 中ホール	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	その他 (全体・共用部など)
事業内容	主な事業	施設の貸出、自主事業 (鑑賞事業等)		蔵書の貸出、読書の普及活動など	プラネタリウム投映・投映外事業	郷土資料の展示、教育・普及事業	
	自主事業	・クラシック音楽を主とした鑑賞型事業等 (2017~2019年度 12事業 参加者 6,541人) ※1 ・参加者の7割超が50代以上 ※2 ・クラシックコンサートの要望多い ※2	・なし	・乳幼児~小学生とその保護者を対象とする事業が中心 (おはなし会等) ・大人向けの事業は「朗読会」など少数 (2018年度 16事業 参加者2,680人) ※4	・一般、子供向け投映 ・プラネタリウムでのコンサートや朗読会、屋外での天体観望会、天体講演会等 (2018年度 11事業 参加者19,816人) ※	・常設展、企画展、古文書修補済資料展 ・古文書講座、勾玉づくりなどの体験教室、講演会など (2018年度 22事業 来場者15,089人) ※	
	他施設との連携	・なし		(プラネタリウムと連携) 2事業 「にんさんぶプラネタリウムwith図書館」 「プラネタリウム合同おはなし会」 通常のおはなし会に比べ、参加者多数 ※4	(図書館と連携) 2事業 「にんさんぶプラネタリウムwith図書館」 「プラネタリウム合同おはなし会」 (郷土資料館と連携) 2事業 郷土史講座「くらしの中の星たち」 「江戸時代の時刻と十二支」 ※6	(プラネタリウムと連携) 2事業 郷土史講座「くらしの中の星たち」 「江戸時代の時刻と十二支」 ※8	
利用状況	入館者数	67,381人 (2018年年度 開館日数: 286日) ※3		257,512人 (2018年年度) ※1	19,816人 (2018年度 自主事業参加者) ※6	15,089人 (2018年度 自主事業来場者) ※8	○ホール練習室 ・主に舞台芸術活動の練習に利用 ※1
	施設利用実績	<b>■貸館</b> <b>【目的・用途】</b> ※1 ・舞台芸術活動 7割 ・会議・集会等 2割 (クラシック等生音中心の音楽5割) <b>【利用者】</b> ※1 ・各種教室、団体、民間企業等 7割 (市内5割、市外2割) (免除なし) ・市教育部、学校関係 2割 (全額免除) <b>【利用人数】</b> ※3 ・600人以上 (定員802席) 3割	<b>■貸館</b> <b>【目的・用途】</b> ※1 ・大会・集会、会議・講習 6~7割 ・舞台芸術活動 2~4割 (ピアノ発表会等) <b>【利用者】</b> ※1 ・各種教室、団体、民間企業 6~7割 (市内4割、市外2~3割) (免除なし) ・市教育部、学校関係 3~4割 (全額免除) <b>【利用人数】</b> ※3 ・100人以下 (定員300人) 7割	<b>■登録・貸出・予約状況等</b> ※ <b>【貸出】</b> ・461,117冊 (一人あたり7.3冊) <b>【登録者数】</b> ・19,555人 <b>【蔵書冊数】</b> ・554,773冊 (一人あたり8.7冊) <b>【予約点数】</b> ・89,959点	<b>■自主事業</b> ※ <b>【来場者】</b> プログラム参加者 ・年代 一般投映、天体観望会: 全て 子供向け投映: 親子 天文講演会・講座: 40代~ 星空のコンサート: 60代~ ・居住地 市内3~6割、市外4~7割 (多くのプログラムで市外が多数)	<b>■自主事業</b> ※ <b>【来場者】</b> 講座参加者 ・郷土史講座 市内7割 市外3割 ・古文書講座 市内8割 市外2割	

※1 白井市文化会館施設利用実績統計一覧 (平成29年度~平成31年度)  
 ※2 白井市文化会館 主催事業アンケート (平成30年度)  
 ※3 白井市文化会館施設利用実績統計一覧 (平成30年度)  
 ※4 白井市図書館事業実施状況 (平成30年度)  
 ※5 平成31年度図書館サービス指標  
 ※6 白井市プラネタリウム事業実施状況 (平成30年度)  
 ※7 白井市プラネタリウム自主事業来場者調査 (平成30年度)  
 ※8 郷土資料館展示事業・教育・普及事業状況 (平成30年度)  
 ※9 白井市郷土資料館自主事業来場者調査 (平成29~31年度)



②運営管理者（職員）の意見

		文化会館 大ホール	文化会館 中ホール	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	その他・共用部
ハード面	長所	・音が良い（音響設計より評価）		・視聴覚ブースは人気がある （現在は利用停止中）		・展示室の規模が子どもに目が届いて 良いとの意見あり	
	課題	<p><b>【客席・ホワイエ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>客席天井が特定天井（落下対策が必要）</li> <li>客席扉の部品交換が高額（輸入品のため）</li> <li>客席椅子が標準寸法より一回り小さい</li> <li>高所の電球の交換が困難</li> <li>親子室内の仕切りの改修</li> <li>1階から2階へのエレベーターがほしい</li> <li>入場前の待機スペースが十分でない</li> <li>空調の個別調整（暖房時、2階ホワイエが暑くなる）</li> </ul> <p><b>【舞台・舞台特殊設備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>床が水平でない／袖が狭い／通路の明かりが洩れる</li> <li>舞台後方の空調設備が幕を吸い込む</li> </ul> <p><b>・舞台機構：</b> 綱元が中二階にあるため使いづらい／緞帳以外速度可変が出来ない／ボタン間隔が狭い箇所がある</p> <p><b>・舞台照明：</b> 各種機材等の老朽化／LED化／調光卓のデジタル化／フットライト使わない／フォロースポットの更新・転倒防止措置</p> <p><b>・舞台音響・映像：</b> EVマイクのメンテナンスが困難／16mm映写機は使わない／2Fホワイエにモニター必要</p> <p><b>【楽屋】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数が不足／小上がりは不要／地下階で動線が不便／袖を経由せずホワイエと連絡したい</li> <li>給湯器の故障</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務所が狭い、動線を舞台袖と分けたい</li> <li>車椅子トイレが狭い、授乳ブースを充実させたい</li> </ul>	<p><b>【客席】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遮音が不十分（上下階に響く）</li> <li>客席を倉庫に収納しきれない</li> <li>客席の照度が不足</li> <li>客席シーリングの使い勝手が悪い</li> <li>窓面のロールスクリーンがオーバースペック</li> </ul> <p><b>【舞台・舞台特殊設備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>舞台が狭い</li> <li>舞台裏で上手下手の移動ができない</li> <li>舞台設備を更新していない</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大ホール、中ホールの中継機能</li> <li>ピアノ倉庫がほしい</li> </ul>	<p><b>【閲覧室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子書籍利用のため、個別で使える机があるとよい</li> <li>6人掛け席の必要性（今はコロナで2人掛け）</li> <li>対面朗読室を廃止し、作業室に対面朗読用ブースを設けたい</li> <li>本の日焼け防止（窓に遮光フィルターを貼ると良い）</li> <li>児童コーナーの音が響いてしまう</li> </ul> <p><b>【書庫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>閉架書庫の二重壁から湿気漏れ</li> <li>閉架書庫の移動棚の動作に不具合</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>搬入経路の幅が狭い</li> <li>1階のトイレが図書館内にしかない</li> <li>地下の空調の効が悪い</li> <li>盗難が多い、ICタグの予算がない</li> </ul>	<p><b>【放映室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天井部分に雨漏り（加湿による結露が原因）</li> <li>椅子のリクライニングが故障</li> <li>椅子の幅を広くしたい</li> <li>ドアクローザー等は日本製が良い（外国製は高価）</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プラネタリウム専用のアクセス動線が欲しい</li> <li>屋上に行けるエレベーターが欲しい</li> <li>満席時の避難動線が懸念される</li> <li>3階まで人が来ない</li> <li>館内放送を3階からできると良い</li> <li>トイレに人感センサーがほしい</li> <li>パソコンの更新が必要</li> </ul>	<p><b>【展示室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>結露で天井から水が垂れる</li> <li>展示ケースのガラス劣化、開閉困難</li> <li>ガラスケース付きの部屋が欲しい</li> <li>企画展を行うスペースがない</li> </ul> <p><b>【収蔵庫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小さくて飽和状態</li> <li>ガス消火設備を設置したい</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収蔵庫と展示室の空調が同一系統で、個別に温湿度管理ができない</li> <li>雨の時の搬入はBM車庫に車をつけて図書館の作業室を通る必要がある</li> <li>大きい物の搬出入は階段</li> <li>事務室から展示室の状況が分かりにくい</li> <li>修補作業専用の部屋が無い</li> <li>文化センター全体の施設管理上、エレベーター、階段の壁への展示ができない</li> </ul>	<p><b>【屋根・屋上・壁等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に壁のクラック、雨漏り、結露がある</li> <li>庇の表面材が剥落してきている</li> <li>タイルの剥落は打診検査や赤外線検査が必要</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に機器の全更新が必要</li> <li>トイレ等のバリアフリー化が必要</li> <li>wi-fi等のネット環境が不十分</li> </ul>
ソフト面	長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の利用団体、保育園、幼稚園の発表会が多い</li> <li>鎌ヶ谷、柏などからも申込がある</li> <li>土日はほぼ埋まっている</li> <li>体育館を持っていないため、文化祭など市の事業が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大ホールに比べ会議や展示が多い</li> <li>郷土資料館の展示をしたこともある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示や市民参加を促す取組みを実施</li> <li>書庫、書架は余裕がある</li> <li>蔵書管理はしっかりしている</li> <li>購入した分だけ除籍する</li> <li>プラネタリウムと連携行事を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺市から利用がある</li> <li>周辺地域はプラネタリウム密集地帯（1時間圏内に11館程度）</li> <li>リピーターが3分の1から2分の1</li> <li>満足度は高いと感じている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館、プラネタリウムと協働</li> <li>県の移動博物館の時にボード展示 縄文関係で図書館と一緒に勾玉作り</li> <li>資料館自体が白井の情報発信を担う</li> </ul>	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年で職員が交代していたため、長いスパンでホールを見られない</li> <li>事業決定までに時間がかかる（単年度予算のため、計画開始が4月からで実行は早くて秋頃）</li> <li>他施設との連携が活発でない</li> <li>公演後の飲食等のニーズに応えられない（近隣に施設がない）</li> <li>有料イベントで満席になることはあまりない（学校行事は満席）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>予約本、書庫の本はセルフ貸出不可</li> <li>図書館の予算が少ない</li> <li>購入する本が少なく、本棚の鮮度をあげるには棚を減らすしかない</li> <li>データベースが朝日、毎日のみ</li> <li>小学生くらいになると来なくなる（立地的にも不便）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信が弱い</li> <li>図書館での放送など、連携して呼び込みたい（現状禁止）</li> <li>職員の後継者がいない</li> <li>年間経費は委託、指定管理より、直営の方が安価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文書修復作業のボランティア不足 管理する人間が少ないため対応困難</li> <li>担当が2名でアウトリーチは厳しい</li> <li>教育普及担当がおらず、学校のことを知っていないと難しい</li> <li>古文書講座、体験教室の要望が多い</li> <li>本庁にギャラリーができたことで、平成29年は入館者数が減少</li> </ul>	

③運営協議会の意見

		文化会館 大ホール	文化会館 中ホール	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	その他
現在の施設 について	継続したい点 評価できる点	・音が良い	・多用途に対応 (客席調整、平土間可) ・小規模な音楽系の発表会で利用		・生涯学習施設、幼小中の学習施設 ・幅広い年齢層へ向けたプログラム ・生解説が好評	・展示室・収蔵庫などの施設 ・博物館機能の維持が非常に重要	
	運営の課題	・収益事業が少なく維持費がかさむ ・200～300人程度が市民利用には 適している(800席は過大)		・サービス拡大には人員不足 ・本の破損・盗難 ・夏休みは利用者が増え、狭く感じる	・プログラムの継続を考えると人員 不足	・調査・研究、展示、保存を学芸員 2人で担っており、講座等の自主 事業が不十分 ・小学生・高齢者以外の来館が少ない	
	新たに必要点	(コロナを前提とすると) ・席間隔の調整・飛沫防止パネル ・音は良いので配信設備を備え、 少人数の有観客の配信ライブを 実施してはどうか(専門家の診断 を受け、該当ジャンルのアーティ ストに営業する) ・舞台技術にサポートスタッフ	・遮音性能の向上 (対図書館、プラネタリウム) ・舞台袖の拡張	・資料費の増額 ・移動書庫の装置の修繕 ・Wi-Fiの充実 ・本の日焼け対策 ・電子書籍関連設備の導入 ・話せる空間と静かな空間の区分 ⇒お話の部屋の活用など ・大きな本を広げられる閲覧 スペース	・オンラインを活用したイベントも 視野に入れる ・投影機・望遠鏡は更新したばかり で、規模・席数も不便なし。 安全性に問題がなければ施設は このままで良い	・改修・機能向上した上で、少し でも規模拡大できると良い ・収蔵庫拡大(図書館との共用は 困難) ・学芸員専用の作業部屋確保 ・郷土資料館専用の講座室確保 ・資料のデータベース化等、イン ターネット対応できる人材 ・学校教育との連携、ICT化の推進 (全学的検討)	
他施設 について	継続したい点 評価できる点	・文化センターは生涯学習施設として全ての機能が重要、維持してほしい ・市民団体の発表会や、他地域の団体との交流会のような連携		・プラネタリウムと連携した、マ タニティ関連の読み聞かせ活動	・図書館と連携した妊産婦向けプロ グラム ・プラネタリウムの後に図書館を 利用することがある ・エントランスは文化祭や作品展で 利用	・プラネタリウムと連携した講座 ・ホールとの連携は難しい (800席が埋まる講演会はない)	
	運営の課題	・行政が市民の自主的な生涯学習をどのように応援する街なのかをもっと アピールしてほしい			・喫茶室は入口が分かりづらい印象	・専門人材(総合的に活動をプラン ニングする人)がいない	
	新たに必要点	・気軽に入れて本を読んだりできる喫茶店 軽食スペースであれば自動販売機とテーブル・椅子があるだけでも良い		・カフェ機能(若者も来やすい) ・認知症カフェ ・プラネタリウムを活かした図書 利用促進 ・小学生・お年寄りへの文化事業を 他施設と一体で行いたい	・屋内での飲食スペース	・施設全体での情報発信の専門部署 ・カフェ機能もあると良い	
あり方検討 について	改修後に 期待すること	・お金をかける以上、収益を上げて費用を回収しないと市民も納得しない ・市のPRになる、誇れる施設となること ・市民が気軽に発表会をできる場所になると良い ・地域の文化創造、育成、発信拠点であり続けることが重要	・本が好きでなくても気軽に立ち 寄れる場所 ・不登校の子供たちを受け入れ ・認知症等の高齢者も安心して利用 できる館	・客層の新規開拓・リピーターの確保	・市民の生活に溶け込む、気軽に 利用でき、誇れる施設 ・現状の設備を活かし、博物館の 役割を果たせるように改修		
	廃止の場合 の影響	・生涯学習を望む市民への学習や活動場所、仲間づくりの場の提供、活動 の継続性を絶ってしまう	・市内に本屋がなく、読書の機会が 失われる ・若い人に訴えかけるアピールポイ ントがなくなる (4館残してほしい)	・学習放映に大きな支障をきたす ・市外から集客する施設であり、 対外的にアピールできるポイント が減る	・学校教育との連携が失われる ・生涯学習都市宣言から歴史・文化 を除くと捉えられかねない ・資料を寄贈して下さる市民の信頼 を裏切る		

④市民意見（市民アンケートより）

全体概要

施設別の良いところ、課題など

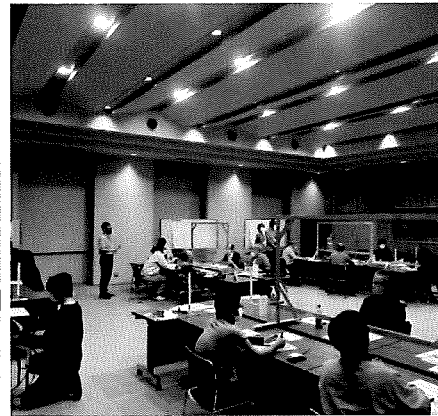
項目	内容	施設別の良いところ、課題など				
			文化会館	図書館	プラネタリウム	郷土資料館
利用状況	<p>【利用経験有り】 図書館76%、文化会館63%、プラネタリウム50%、郷土資料館31%</p> <p>【利用経験が無い】 理由は「用事がないから」が多数</p> <p>【複数施設の利用】 「複数施設の利用は無い」7割。施設ごとに目的を持って来館する傾向利用する場合は、図書館とほかの施設との組み合わせが多い</p> <p>「文化会館と図書館」54%、 「図書館とプラネタリウム」23.4% 「図書館と郷土資料館」17.5%</p> <p>【来館頻度】 全施設で「数年に1回程度」が過半。図書館のみ「年1回以上」が半分弱</p>	長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>規模・広さがちょうど良い</li> <li>居心地・座り心地が良い</li> <li>音響が良い、舞台が見やすい</li> <li>親子室がある</li> <li>設備・備品が良い</li> <li>駐車場が広い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>閲覧スペースの居心地が良い</li> <li>蔵書が豊富</li> <li>本が探しやすい</li> <li>勉強に使えるスペースがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設が広く、居心地が良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設がきれい</li> </ul>
利用目的	<p>■文化会館 「発表・公演・展示」61%、「催しの鑑賞・体験」54%、「練習」1.6%</p> <p>■図書館 「本を借りる」76%、「調べもの」30%、「新聞・雑誌等の閲覧」15%</p> <p>■プラネタリウム 「プラネタリウム投影を見る」(個人)69%、(団体)23%</p> <p>■郷土資料館 「常設展を見る(個人)」53%、「企画展を見る(個人)」36%</p>	ハード 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリーが不十分</li> <li>トイレが少ない</li> <li>座席幅が狭い</li> <li>休憩・待機スペースが少ない</li> <li>駐車場の不足</li> <li>駅から遠い、バスが少ない</li> <li>食事をするところがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>閲覧スペースの不足</li> <li>施設が古く環境が良くない</li> <li>蔵書が古く種類が少ない</li> <li>トイレが使いにくい</li> <li>書庫にある本が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>座る場所によっては見づらい</li> <li>席の座り心地が良くない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設が狭く雰囲気が暗い</li> </ul>
文化センターの満足度	<p>【満足度】 「満足している」35% 「満足していない」9% 「どちらでもない」49%</p> <p>〈上の理由〉</p> <p>【満足している】 ・施設が広くきれいで居心地が良い ・規模が適当 ・施設・設備が充実 ・催物等の事業が充実 ・アクセスが良い</p> <p>【満足していない】 ・バリアフリーが不十分 ・魅力的な催し物がない ・アクセスが良くない</p> <p>【どちらでもない】 ・利用経験・機会がない・少ない ・施設の情報が分からない ・魅力的な催し物がない ・自宅から遠い、アクセスが良くない</p>	長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロの演奏、公演、講演等を楽しむことができた</li> <li>子どもが舞台に立つ経験ができた</li> <li>職員の対応がよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の対応が丁寧</li> <li>ネットで手続き可能</li> <li>借りた施設以外で返却可能</li> <li>本をリクエストし、購入してもらえる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>解説、プログラムが良い</li> <li>市の施設として誇れる</li> <li>身近にある・気軽に行ける</li> <li>料金が安い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白井の歴史を学べた</li> <li>展示が興味深い</li> <li>子どもの体験教室</li> <li>職員の対応がよい</li> </ul>
新しい文化センターに期待すること	<p>【施設の方向性】 ・幅広い世代の市民が利用しやすい、集まりやすい施設 ・親しみやすい、身近な施設 ・文化活動の拠点</p> <p>【施設面】 ・カフェ等の飲食施設の充実 ・新しい施設/スペースの設置（コワーキングスペース・子ども用プレイルーム・体育施設・コンビニ等） ・設備・備品の更新 ・施設規模の最適化の検討 ・施設の存続 ・アクセスの向上（バス本数の増加等） ・駐車場の増設</p> <p>【事業・運営面】 ・催し物の充実（内容・回数） ・情報発信の強化 ・運営方法の見直し</p>	ソフト 課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>チケット等の情報が分からない</li> <li>公演チケットが窓口で買えなかった</li> <li>職員の対応が良くない</li> <li>鑑賞・体験するにあたり重視すること「公演内容」「出演者」</li> <li>練習活動場所について重視すること「使用料が手頃」「集まりやすい立地」</li> <li>催しの鑑賞・体験のない回答者が約半数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人気の本の予約待ちが長い</li> <li>閲覧席のマナーの悪さ</li> <li>閉館時間が早い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムの種類が少ない</li> <li>職員の解説、対応がよくない</li> <li>放映時間が限られていて予定が合わない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示に魅力がない</li> <li>講座・体験教室の数が少ない</li> <li>情報発信の不足</li> <li>ボランティアガイドがいない</li> </ul>

その他の意見 ・要望など (政策全般・財源等に関するもの)	<p>・この絶望的なコロナ禍では何も要望できない。今後は縮小・削減はやむを得ないと思われる。(40代/男性)</p> <p>・箱物にはお金をかけてほしくはない。その都度補修して使えば良い。お金は大切に使って下さい。無駄遣いはやめましょう。(70代以上/男性)</p> <p>・文化センターにお金をかけるより、不妊・不育などに関する補助金など世帯、暮らしている市民の幸福に寄り添ってくれる市であってほしい。白井市は上記のような補助制度が手薄であり、住みたいと思えない。もっと魅力的な市になってほしい。(20代/女性)</p> <p>・コンパクトシティを目指すとのことで市の中にいろいろな施設を作るのも良いと思いますが、それには財源も必要となります。市民の為になるものであってもっと根本的な市民サービスが公平に提供されるためには満足度の低いものや維持費のかかるものについては考え直していただきたいです。身近なところでいえば印西市との差が感じられます。福祉に力を入れる、教育に特化する、環境整備をしっかりとするなどどれか一つにフォーカスして確実に自治体として力をつけていかなければならないのではないのでしょうか。(50代/女性)</p>
-------------------------------------	---

# NEWS LETTER

Vol.01  
2021.11.2

## 第1回白井市文化センターのあり方 検討ワークショップが開催されました！

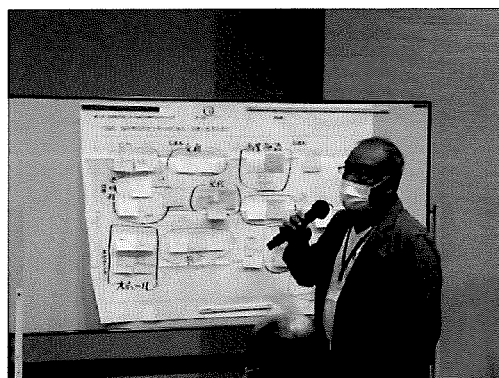


### 白井市文化センターのあり方検討事業について



白井市では、開館以来27年が経過したことで機器や設備の老朽化が進行して大規模改修が必要な時期を迎えている文化センターの今後のあり方を決定するため、「文化センターのあり方検討事業」を進めています。  
事業推進にあたって「文化センターのあり方検討委員会」を設置し、検討を行っています。社会情勢の変化や市民ニーズ等を踏まえながら、現状にとらわれないうぜ口ベースでの検討・決定を目指しています。  
今回のワークショップでは、市民の皆さんから施設の現状への「思いや将来像、期待することなど」について「意見をいただきたい」と思っています。いただいたご意見は、検討の参考にさせていただきます。沢山のご意見お待ちしております！

### 今回のテーマ「白井、文化センターのじまん・ふまんを考える」



今回は、4グループ18名の参加者の方が集まってくださいました。

今回のテーマは「白井、文化センターのじまん・ふまんを考える」ということで、皆さんに意見交換していただきました。グループワークでは、各グループ積極的に意見を出し合っていて、白井市のじまんでは「自然が豊か」「梨が美味しい」などが、白井市のふまんでは「交通の便が悪い」「梨業や農業の減少」文化センターのじまんは「文化会館の音響が良いこと」「図書館のサービスが良い」、一方で、ふまんでは、「情報発信の不足」「大ホールが使いにくい」など様々なご意見をいただきました。（詳しいご意見まとめは裏面の表を参照ください。）  
次回も沢山のご意見お待ちしております！

白井、白井文化センターのじまん、ふまん

種別	WSご意見	種別	WSご意見
<b>白井のじまん</b>		<b>白井市文化センターのじまん</b>	
自然・環境	・自然豊か・ひぐらしが鳴いてる・虫がいる・白鳥 ・町と田舎が一体化、駅から歩いて10分くらいで畑がある ・住宅街の緑道が整備されている・緑が多く散歩するのが楽しみ！・静かな街、ゆったりんびり	施設全般	・程よい大きさの文化施設が魅力 ・幼い頃から文化に触れることができる環境が良い。プラネタリウム(遠足)、図書館、大ホールでの発表体験(合唱祭等) ・子どもの教育に大切 ・劇場以外の施設がある ・文化への方の入れ方は他の市よりも大きい
食べ物	・白井の梨は最高にオシシイ！・梨が全国でNO1 ・梨の直売所マップ助かる！・なし坊がわい！	文化会館	・大ホール、施設が立派・大ホールのキャパが丁度いい ・なし坊ホールの舞台は使いやすしい優れている ・なし坊・かおりホールの音響がイイ ・文化会館の直しがあとと聞くと、響きは残してほしい！ ・大ホール・中ホールともにピアノグレードが良い
交通	・道路が走りやすい・歩道と自動車道が分かれている、広い ・お店の駐車場が広い ・千葉ニュータウンで最も東京寄り	図書館	・大きくていい！・いっぱい借りられていい！ ・CDも多い、人気がある・サービスが良い ・公民館でもオンラインで取り寄せられる！
イベント	・ふるさと祭りにぎわっていい！ ・富士地区はお祭りが多く、盆踊り・みこし ・節分豆撒き・公園でマルシェ・そろばん博物館祭り	プラネタリウム	・設備が良い・企画が良い
公園	・運動公園・中央公園・総合公園と木戸公園 ・総合公園の美しさ、世界観が好き・広い ・イベントが打てるのが最高	駐車場	・無料・広い、とめやすい
歴史	・古墳みたいなものがある・石器や土器が出る ・平塚の方には自然が残る里山がある・水神伝説	公園(庭)	・芝の公園が時間つぶしに良い ・文化センターの庭園は可能性を秘めている
ひと	・地震の時、体育館に避難して一夜を過ごしたけど、校長先生も教頭先生も市役所の方も親切でした！ ・コミュニティが顔の見える範囲でしやすい ・小さいまちで、人のネットワークをつくりやすい	立地	・文化施設が市のちょうど中心に位置している
まち	・医療レベル高い・千葉県最大工業団地 ・街が成長し続けている！若い世帯も入居しやすい ・白井は何も無い？ゼロから何でもできる？	交通	・よそと比べるとそんなに交通の便は悪くない
施設	・JRA(競馬学校)・白井駅、夜は幻想的、フォトスポット ・白井駅前センター、バンドの設備がスゴイ！ ・西白井複合センター視聴覚室広くていい！窓が両側にあって換気バッチリ	その他	・トイレのウォッシュレットの導入が早かった
文化芸術	・音楽サークルがある・学校の合唱が盛んでいい！ ・白井駅前センターの主催事業、工夫があって楽しい！	<b>白井市文化センターのふまん</b>	
<b>白井のふまん</b>		施設全般	・文化の発信場所にしてほしい ・サークルに使いやすく施設使用料を見直し。高額に感じる ・環境に優しく。太陽光発電・断熱構造・地下水利用の冷暖房 ・ムダな空間が多い(構造的に)、どの施設にも属さない空間を活かしたい、有名なアートなど展示できないか
交通	・北総線、運賃が高い・国道464号線が渋滞する ・交通の便が悪く、高齢の親が心配 ・市内の交通便(市バス)が少ない	事業全般	・芸術展をやしてほしい ・文化祭だけでなく市民の発表を増やしてほしい ・絵画展開催、プロ&アマチュア
まちづくり	・ベッドタウンでまちづくりに関心ある人が少ない ・市民の参加が少ない・白井は実行に時間がかかる ・お金がない ・周辺市と交流してほしい、白井市は閉塞的だと思う	文化会館(施設)	・中ホールと大ホールの間くらいハコほしい ・大ホール、使いにくい、高い、800人も集客できない ・ホールがあまり使われていない ・中ホールは音の制限があり使い勝手が悪い
文化芸術	・サークル劇や踊りの発表の場が少ない ・若い人も高齢者も文化・芸術・学びが必要 ・スポーツ関連有名人のお話とか聞けると良い ・文化芸術のプレイヤー(若者)市から出て行きがち ・言は武道が盛んであった、今は衰退している	文化会館(事業)	・文化ホール、子供向けの企画がほしい ・若者に人気の公演ももっとあっていい ・有名人が来ない(来なくなった)・色々な公演が見たい ・大ホール、プロにも使ってもらいたい ・ホール出演者、市内のアマチュアとプロのバランスを良くしてほしい ・eスポーツ会場になると良い ・中ホールでライブ等できると良い
観光	・観光施設がない・他市から目標とする施設がない ・人の流れがない・地形をいかしたサイクリングロードとか、里山に人を呼ぶイベントがない	図書館	・DVD映画が少ない・CD・DVD増設、語学・文化他 ・本以外はイマイチ
施設	・商業施設(誘致)が少ない・商店街がない ・にぎわいのある、魅力ある施設がない ・駅前に飲食店がない・体育施設が弱い	プラネタリウム	・近隣の市にも校外学習等で使ってほしい
食べ物	・梨や農業が大事と言う割に梨業や農業がなくなっていく ・農作放棄地が多い・オリジナルスイーツ・食べ物がない	郷土資料館	・イベントを若者向け・未来向けに ・文化会館・図書館・プラネタリウムの評判は良いと聞く
遊び場	・遊び場・つるむ場、公園以外ナイ ・若い世代のコミュニティの拠点が少ない	アクセス	・駅からアクセスが分かりにくい、文化センターまで暗い ・文化センターへの足の便が悪い
バリアフリー	・車椅子で利用可能なトイレ、店が少ない	情報発信	・公演情報が良く分らない ・大ホールのアピールを内外に ・ホール使用率が低いのはアピール不足ではないか
情報発信	・市の広報を分かりやすくカラフルにして、毎月のイベント等を掲載	駐車場	・イベント、ときめきマルシェ・ふるさと祭りの時に駐車場が不足する・駐車場の誘導員が不親切
その他	・白井言頭の音源がない ・都市銀行がない ・子どもが外で遊ぶ姿が少ない	飲食スペース	・文化センター近くにコーヒーを飲める場所がない ・食事を食べる場所(フリースペース)が少ない
		その他	・楽器を練習する場所がもっと欲しい ・トイレは1階にもほしい、図書館の中は行きづらい

次回予告

「コンセプトを考える！」

2021年11月2日(火)

18:30-20:30

@文化センター中ホール

なんでもアンケートのご意見

白井市に対してや施設に対して色々な意見が出てとても参考になりました。

多くの方にかかわっていただき「文化」をもっと盛り上げていきたいです。

白井のことを色々考えるきっかけになりました。

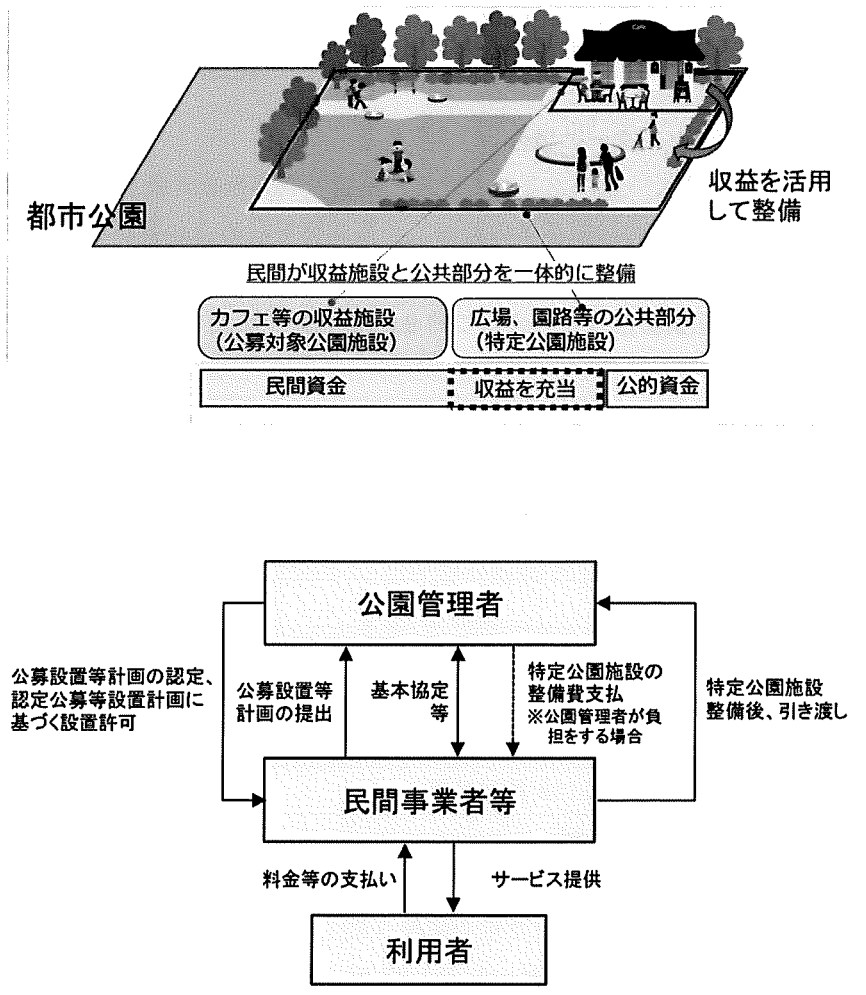
公募設置管理制度（Park-PFI）等について

1. 公募設置管理制度（Park-PFI）について

(1) 概要

- ・ 都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続き。
- ・ 事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される。
- ・ ただし、公募対象公園施設を設置、管理する者は、園路、広場等公園管理者が指定する特定公園施設をあわせて整備することが必要。

事業とスキームのイメージ



## (2) 用語説明

用語	説明
公募対象公園施設	都市公園の利用者の利便の向上を図る上で特に有効であると認められるもの。 例：カフェ、レストラン、売店、屋内子ども遊び場 等 ⇒事業の核となる収益施設
特定公園施設	公募対象公園施設の設置または管理を行うこととなる者が認定公募設置等計画に従い整備する、園路、広場等の公園施設。公募対象公園施設の周辺に設置することが都市公園の利用者の利便の一層の向上に寄与すると認められるもの。 例：休養施設、駐車場、広場、園路、噴水 等 ⇒収益施設と一体的に整備される一般利用者向け施設
利便増進施設	公募対象施設の周辺に設置することで地域住民の利便の増進に寄与すると認められるもの。 例：自転車駐車場、地域における催しに関する情報を提供するための看板、広告塔 等 ⇒事業の収益性を高めるために設置を認める占用物件

### (3) -1 白井市文化センターの場合

敷地は白井総合公園の一部であることから、施設の増築等を実施する場合には、都市公園法等に定められる公園施設の設置基準の範囲で建築面積を収める必要がある。一方で、平成 24 年の法改正時に公園施設の建築面積の限度が緩和されていることを踏まえ、仮に建蔽率を上限の 12%とすると、建築面積は公園全体で約 9,300 m<sup>2</sup>まで拡大できる可能性がある。

#### 1) 白井総合公園

所在地	千葉県白井市復 1422 番地 10 号
公園面積	約 78,000 m <sup>2</sup> (文化センター部分を含む)
開園	平成 26 年 4 月 1 日 (文化センターは平成 6 年に先行して開館)
運営者	白井市
主な施設	芝生広場、遊具、散策路 等

#### 2) 白井市文化センター

所在地	白井市復 1148 番地 8 号
敷地面積	36,673.41 m <sup>2</sup>
現建築面積	3,969.98 m <sup>2</sup> (文化会館棟 1,672.20 m <sup>2</sup> 、図書館棟 2,297.78 m <sup>2</sup> )
現延床面積	10,219.26 m <sup>2</sup> (文化会館棟 3,621.25 m <sup>2</sup> 、図書館棟 6,160.78 m <sup>2</sup> 、エントランスホール 353.93 m <sup>2</sup> 、自転車置場 83.00 m <sup>2</sup> )
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第二種高度地区、都市計画公園
建蔽率	60% (建築面積の上限は都市公園の面積の 100 分の 12 が限度)

### (3) -2 白井市文化センターで導入する場合の懸念事項

- ・ 民間事業者を募集するにあたり、初期のマーケットサウンディング（ヒアリング等にて民間事業者の参入意欲、実施条件への意見聴取をする）の段階で、**事業者からの応募が少ないと導入が難しいという結論に至る**可能性がある。また、調査期間、費用が別途発生する。
- ・ 特定公園施設の整備費用の全てを事業者負担とすることも可能だが、市街地から遠い、利用の季節変動が大きいなどの課題があり、**民間事業者の関心が低い場合には、事業規模に応じた行政の支援（公共の費用負担）が必要**になることも想定される。
- ・ 白井総合公園内の施設であることを考慮し、公園全体の将来像や基本理念を検討した上で、新たに整備すべき施設の検討が必要となる。

### (4) 特例措置について

項目	概要
特例 1 設置管理許可期間	20 年以内
特例 2 建蔽率	原則 2%だが、休養施設・運動施設・教養施設、公募対象公園施設等を設置する場合は 10%の上乗せが可能 ※複数施設にそれぞれ 10%の上乗せはできない。 ※実際の建蔽率は各地方公共団体が法律で定める建蔽率を参酌し、条例で定めた割合となる。
特例 3 占用物件	認定公募設置等計画に基づく場合に限り、自転車駐車場、看板、広告塔を「利便増進施設」（占用物件）として設置可能

※ (1) ~ (5) Park-PFI に係る事項 参考資料：

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課

「都市公園の質の向上に向けた Park-PFI 活用ガイドライン（平成 30 年 8 月 10 日）」


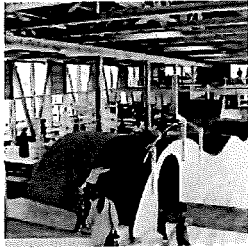
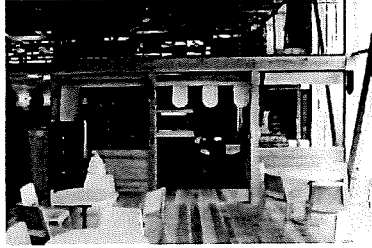
「都市公園法改正のポイント」






## 2. 事例

### (1) P-PFIによる公園の整備

#### 1) KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE




概要	所在地	岐阜県各務原市那加雲雀町 30 番地 1 号 ※学びの森（公園）、市民公園、図書館と隣接	
	開園	令和 3 年 3 月	
	敷地面積	2,326 m <sup>2</sup> （学びの森約 4.2ha の一部）	
	建築面積	－	
	延床面積	約 1,000 m <sup>2</sup>	
	主な施設	遊び創造 labo（屋内遊び場）、飲食店 等	
運営者	各務原学びの森株式会社（代表法人 株式会社井上工務店）		
事業内容	施設整備、維持管理、運営 ※運営は飛騨五木株式会社と市民団体の共同		
経緯	<p>・学びの森は、近年「マーケット日和」などのイベントや、公園内にあるカフェ・ギャラリー「雲のテラス」を市民団体が活用することにより、新たな公園の使い方が提案され、公園に賑わいがあった。この賑わいをより確かなものとするため、臨時的に「那加福祉センター・勤労会館駐車場」として利用されている区域を学びの森へ編入し、「公募設置管理制度（Park-PFI）」による事業化を推進することとなった。</p> <p>・令和元年 10 月、「学びの森官民連携型賑わい創出事業」として、公募対象公園施設である収益施設の設置とその周辺の特定公園施設の整備・運営を行う事業者の公募を開始した。</p>		
事業期間	令和 2 年 2 月 20 日から 20 年間		
備考	<p>・特定公園施設の整備費用を 4000 万（税込）まで市が負担する公募設置等指針を公表し、公募を実施した。</p> <p>・市人口：146,386 人（令和 3 年 9 月 1 日現在）</p>		
			
	外観	遊び創造 labo	飲食店

## 2) 福山市中央公園

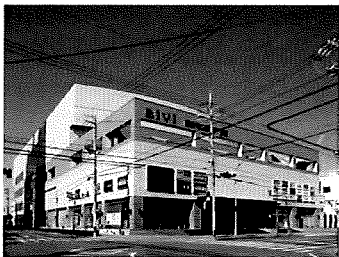
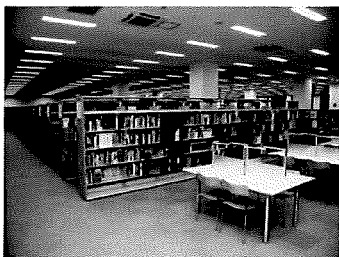
概要	所在地	広島県福山市霞町1丁目10番地 ※図書館を含む生涯学習プラザが隣接
	開園	令和3年5月（リニューアルオープン） ※戦前よりあった公園を平成20年に図書館、子育て支援センター等の複合施設とともに再整備後、さらにP-PFIを実施
	敷地面積	約1.6ha
	建築面積	269㎡（公募対象公園施設のレストランのみ）
	延床面積	－
	主な施設	レストラン、園路、四阿等
運営者	中央公園P-PFIコンソーシアム	
事業内容	施設整備、維持管理、運営	
経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市は、中央公園を平成30年に「福山市駅前再生ビジョン」で駅前におけるまちづくりの核の一つと位置付けた。</li> <li>・その後、駅前再生の一環として、民間のノウハウを活かした利便性向上とにぎわい創出に資する公園施設の設置を目指し、令和元年11月から事業者の公募を開始した。</li> </ul>	
事業期間	令和2年4月9日から22年4月8日（20年間）	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアムが投じる事業費（予定）はカフェレストラン約4,900万、特定公園施設約1,100万円。市は720万円を上限にベンチや植栽を買い取る予定。（2021年6月時点）</li> <li>・隣接する図書館とも連携した子ども向けイベントも実施されている。</li> <li>・市人口：464,194人（令和3年9月末日現在）</li> </ul>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イベント時</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イベント時</p> </div> </div>		

(2) 公共施設と商業施設・民間施設との複合化、隣接により相乗効果をあげている例

1) オガールプラザ（事業用地定期借地権方式）

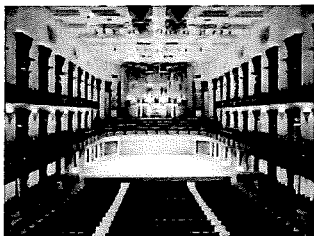
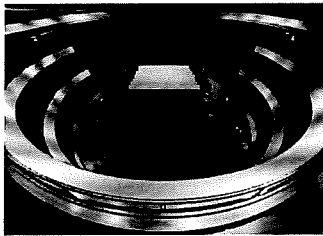

概要	所在地	岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2丁目3番地3号	
	開館	平成24年6月	
	敷地面積	5,640.0㎡	
	建築面積	3,887.1㎡	
	延床面積	5,822.3㎡	
	主な施設	公共：情報交流館(図書館、地域交流センター)、 民間：子育て応援センター、産直施設、飲食店、医療施設 等 ※公共施設部分は紫波町が購入し、区分所有としている	
運営者	オガールプラザ株式会社		
業務内容	施設整備、維持管理、運営 ※設計・建設を行う民間事業者はオガール紫波株式会社が別途選定 ※維持管理は町の管理組合も協力		
経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年2月、未利用の町有地を活用し、財政負担を最小限に抑え、必要な公共施設の整備と民間による経済開発の複合開発を目的とした「紫波町公民連携基本計画」を策定。</li> <li>オガールプラザは、上記計画に基づいた紫波中央駅前都市整備事業（オガールプロジェクト）の一つとして整備された。</li> </ul>		
事業期間	約32年間（紫波町とオガールプラザ株式会社が事業用地定期借地権契約を締結している期間）		
相乗効果	<p>オガールプロジェクト全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館等の集客力のある公共施設が民間施設の稼働仕組みを形成し、賑わいや雇用の創出につながった。</li> <li>未利用町有地の活用に着手することができ、開発が進むことでエリア価値（不動産価値）の向上が図られた。これにより生じた民間収益施設の収益を公共施設の維持管理に充て、公共の負担軽減に寄与することができた。</li> </ul>		
備考	町人口：33,128人（令和3年9月末日現在）		
			
	図書館	情報交流館	子育て応援センター

## 2) BiVi 藤枝 (事業用地定期借地権方式)


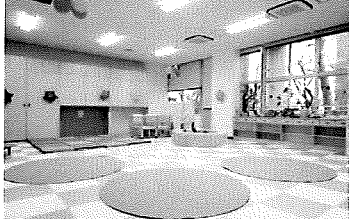
概要	所在地	静岡県藤枝市前島1丁目7番地10号
	開館	平成21年2月
	敷地面積	10,980 m <sup>2</sup>
	建築面積	7,697.24 m <sup>2</sup>
	延床面積	29,323 m <sup>2</sup>
	主な施設	公共：図書館 民間：商業店舗、シネマコンプレックス 等 ※図書館部分は民間事業者から藤枝市へ床を賃貸
運営者	大和リース株式会社 (施設全体)	
業務内容	公共：図書館の施設整備 (什器、備品等)、維持管理、運営 民間：施設整備 (設計、建設等)、維持管理 (民間+公共一部、共用部)、運営 (民間、駐車場・駐輪場)	
経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市は中心市街地活性化のため、民間活力導入による市有地の有効活用等も視野に入れ、各種検討を進めていた。</li> <li>・より具体的な検討を経て、「藤枝市新図書館整備基本計画」において、新図書館の立地は、<b>中心市街地を形成する市立病院跡地を活用することが有効とされた。</b></li> <li>・さらに、<b>新図書館の整備とにぎわい創出の相乗効果を生み出すため、市立病院跡地に図書館と民間収益施設の複合施設を整備することが望ましい</b>という意見に基づき、事業の実施に至った。</li> </ul>	
事業期間	平成19年10月～平成11年2月 (21年5ヶ月) (設計・建設：1年5ヶ月/維持管理・運営：20年)	
相乗効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設内の映画館で上映している映画の内容に関連したコーナーを図書館や書店に設置するなど、<b>民間施設と公共施設の連携</b>が生まれている。</li> <li>・<b>図書館単独ではなく民間商業施設も一体的に整備したことで、当該エリアの集客に大きく寄与し、当初想定を大幅に上回る年間170万人を集客するなど、賑わいの創出が実現した。</b></li> </ul>	
備考	市人口：143,681人 (令和3年9月末日現在)	
		
	外観	図書館

(3) PPP/PFIでの改修・改築事例

1) 所沢市民文化センター ミューズ (PFI RO方式)

概要	所在地	埼玉県所沢市並木1丁目9番地1号
	開館	平成5年11月 令和2年4月(リニューアルオープン)
	敷地面積	22,199.05 m <sup>2</sup>
	建築面積	10,618.48 m <sup>2</sup>
	延床面積	29,115.97 m <sup>2</sup>
	主な施設	大ホール(2,002席)、中ホール(798席)、小ホール(318席)、 展示室(2室)、会議室(4室)、和室(2室)、カフェ等
運営者	指定管理者 公益財団法人所沢市文化振興事業団 (平成30年4月1日～令和4年3月31日)	
業務内容	施設改修に伴う設計・改修・その後の維持管理 ※改修段階 市：基本設計 民間：実施設計 リニューアルオープン後 市：運営 民間：維持管理	
経緯	<p>・平成5年に開館したミューズは、東日本大震災後の天井脱落対策を含む耐震化対策、建物や設備の老朽化対策、バリアフリー対策をできるだけ財政支出を抑えながら実施することが喫緊の課題となっていた。</p> <p>・これらの課題解決を目的として、所沢市と民間事業者が連携してPFI事業で改修とリニューアル後10年の維持管理を行うこととなった。</p>	
事業期間	設計・改修：1年7カ月、維持管理：10年	
備考	<p>・事業費：約77.7億(契約金額)</p> <p>・市人口：343,867人(令和3年9月末日現在)</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>アークホール(大ホール)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>マーキーホール(中ホール)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>キューブホール(小ホール)</p> </div> </div>		

## 2) 立川市子ども未来センター (PPP RO 方式)

概要	所在地	東京都立川市錦町3丁目2番地26号
	開館	平成24年12月
	敷地面積	9,222 m <sup>2</sup>
	建築面積	1,734 m <sup>2</sup>
	延床面積	4,320 m <sup>2</sup>
	主な施設	子ども未来センター、子育てひろば、子ども家庭支援センター、教育支援課、立川まんがパーク、会議室、スタジオ、アトリエ、ギャラリー など
運営者	指定管理者	合人社計画研究所グループ
業務内容	旧庁舎、市民会館の改修整備、開館後の維持管理、運営 (指定管理者として一括契約)	
経緯	<p>・平成22年、立川駅北口に新庁舎が開庁し、老朽化等の問題があった立川市役所が移転。</p> <p>・移転に伴い、旧庁舎周辺の賑わいの喪失や利便性の低下が懸念されていたため、新庁舎建設の際に設置した「新庁舎建設市民100人委員会」で旧庁舎活用についての「市民案」を作成し、市長に提言。</p> <p>基本方針は「子育て支援の推進」、「市民活動の推進」、「賑わい創出・活性化」、「文化芸術のまちづくり」「行政機能の補完」と定められた。</p> <p>・事業の実施にはPPP手法を採用し、公募型プロポーザル方式の結果、賑わい創出機能として「まんがパーク」を創設する案を提出した「合人社計画研究所グループ(9社コンソーシアム)」が選定された。</p> <p>※「まんがパーク」は指定管理者の自主事業として、独立採算で実施。</p>	
事業期間	11年4カ月	
備考	<p>・旧庁舎等施設活用事業は、隣接する旧庁舎と市民会館を一体的に整備・活用する事業ため、旧庁舎の改修整備と合わせて、市民会館は耐震補強、機能性・安全性を向上させるためのリノベーションが行われた。</p> <p>・総工事費(設計費・工事監理費を含む)は約25.4億。 (内訳:子ども未来センター約8億、市民会館約17.4億)</p> <p>※子ども未来センターは旧第2庁舎をコンバージョンした施設。同敷地内の旧第1庁舎、駐車場棟は解体し、芝生広場と駐車場とした。</p> <p>・市人口:185,121人(令和3年9月1日現在)</p>	
		
外観	子育てひろば	スタジオ

## あり方検討:コスト検討のベース案に関して

## 1. 主な「あり方」の方針

方針	費用	施設面積	その他
①解体 新築	最も大きい (新築+既存解体)	現状~小規模	
②増築 (+改修)	大きい (増築+既存改修)	現状より大きい	増築は既存部の改修を合わせて実施する必要があり、機能充実のため施設面積が不足する場合に検討 既存部に増築すると構造的に不利となるため、別棟とすることが望ましい
③改修	中程度	現状程度	
④廃止	小さい	小さい	廃止機能の移転先検討 廃止・撤去とする場合は、建物の一部のみで安全に問題がないか構造計算が必要 →施設全体の耐用年数後に一括撤去

現文化センターの耐用年数は約 30 年残っていることから、まずは「改修」をベースとしたコスト検討を行うことが妥当と考えられる。

## 2. これまでの文化センターの改修状況（基礎調査報告書より）

本施設は本来であれば大規模改修の時期を迎えているものの、あり方検討を先行して実施するために、設備機器等の大規模な更新等に関して着手できていない項目が多い。開館から今までに実施された、建築・設備における大規模な改修履歴は下表のとおりである。

部門	更新項目	実施年
建築	大ホール天井等補強工事(客席天井ワイヤー補強)	R2
外構等	エントランススロープ設置工事	H17
空調設備	冷温水発生機オーバーホール(図書館系統 1)	H26
	加湿用ボイラー本体更新	H26
	冷温水発生機オーバーホール(図書館系統 2)	H25
	自動制御システムリース	H24
	冷温水発生機オーバーホール(大ホール系統)	H23
給排水衛生設備	洋式トイレ増設工事	H25
電気設備	電話設備更新工事	H28
	高圧引込線等改修工事	H29
舞台設備	(軽微な修繕等のみ)	-
その他設備	プラネタリウム機器リース	H26

特に設備機器の本体更新は開館当初からほとんど行われておらず、改修・修繕は部品の交換や故障個所の修繕など、事後保全が主となっている状況である。

本施設は開館からすでに26年が経過しており、設備機器本体の故障が発生し始めている。耐用年数が長くとも概ね30年前後であることを加味すると、その他の機器に関してもいつ故障が起きるかが予想できない状態である。あり方検討において、本施設の全てもしくは一部を継続利用する場合(改修等)には、施設利用者の安全性確保はもとより、公共サービスの安定的な供給を行うためにも、設備機器の本体更新を実施するとともに、予防保全が的確に行えるような修繕計画を立てることが望ましい。

### 3. 改修方針の検討

改修においては、一般的に下記のように優先度を設定する。

優先度高: 法的対応(既存不適格)、利用者安全性確保

優先度中: 機能回復、バリアフリー

優先度低: 機能向上(市民ニーズ・運営者ニーズ等の反映)、将来対応

以上をふまえ、改修方針を大きく3段階(松竹梅)に分ける。

松	大規模改修に合わせ、各部門に求められる機能を向上させ、施設利用のしやすさや現代における市民ニーズに即した施設を目指す。
竹	大規模改修により、劣化が進行している施設を開館当初と同等の機能まで回復させる案。その他利用者の安全性確保、法的対応(既存不適格)に関わる改修を行う。(市民意見、運営者意見等による機能向上は含まず、あくまでも機能回復のみ)
梅	最低限の利用者安全の確保、法的要件を満たすための改修を行う。施設機能は一部縮減させることで、改修・運営等に係るコストを低減させる。

その中でも、コストを抑えることを鑑みつつ、新施設に必要となる機能の議論がなされていないことから、現文化センターの機能をベースとした竹案を基に概算を行う。



#### 4. 本日の議論内容、今後の検討方針に関して

改修竹案と比較して…

1. 費用を掛けられる、かつ施設機能の向上を重視と判断

⇒改修松案、新築案を追加検討

2. 費用が掛けられない、もしくは施設機能の縮減を重視と判断

⇒改修梅案、一部廃止案等を追加検討

施設全体としての判断？各部門に分けての判断？

そもそもこの金額が多いか少ないか分からない？⇒事例が必要？

パターン	方針・実施項目										
	全体	文化会館	図書館	郷土資料館	プラネタリウム	その他					
松案 機能向上	大規模改修に合わせ、各部門に求められる機能を向上させ、施設利用のしやすさや現代における市民ニーズに即した施設を目指す。										
	(竹案と同等)	—	(竹案と同等)	—	(竹案と同等)	—	・内装更新(雰囲気暗い)	市民	・座席更新	市民/運営	・共用部に交流機能、展示機能等付加
	・空調設備系統分け(大ホール・ホワイエ、郷土資料館収蔵庫等)	運営	・バリアフリー ・トイレ増設	市民 市民	・閲覧スペースの増設・変更	市民/運営/協議	・展示ケース更新/修繕 ・展示スペースの増設(企画展用)	運営	・客席扉更新 ・屋上までEVを延長(天体観測用)	運営 運営	
	・Wifi環境の整備	運営	・座席更新(座席幅狭い)	市民/運営	・WC更新、出入口変更	市民/運営	・収蔵スペースの増設	運営	・WC到人感センサ設置	運営	・飲食できる場所の整備
			・客席扉更新	運営	・BDSの導入	運営	・収蔵庫をガス消火とする	運営	・オンラインイベントへの対応	協議	
			・客用エレベーター増設	運営	・書庫スペースの増設	運営	・修補作業用スペース増設	運営			
			・入場前待機スペース増設	運営	・朗読用スペース設置	運営	・EVサイズ変更(搬入利用)	運営			
			・吊物方式変更(綱本廃止)	運営	・対面朗読室を作業室化	運営	・学芸員用の作業部屋の増設	運営			
			・映写機撤去	運営	・児童コーナー静音化	運営	・資料のデータベース化、ICT対応	協議			
			・舞台袖～ホワイエの動線確保	運営	・電子書籍の導入	運営/協議					
			・楽屋段差解消	運営	・日焼け防止フィルタ設置	運営/協議					
			・中ホール遮音対策	運営/利用	・話せる空間、静かな空間の区分	協議					
			・事務所位置変更、スタッフ動線	運営							
			・大ホール舞台床まわりの改修	運営/協議							
		・舞台袖拡張	運営/協議								
		・飛沫防止パネル、座席間隔変更	協議								
		・配信設備の導入	協議								
						(躯体変更、設備の全面更新等が必要となり、費用が特に高額となる項目)					
竹案 機能回復	大規模改修により、劣化が進行している施設を開館当初と同等の機能まで回復させる案。その他利用者の安全性確保、法的対応(既存不適格事項への対応)に関わる改修を行う。										
	・劣化箇所の補修、塗装仕上更新 ・外壁タイル剥落防止、庇補修	機能回復 安全面	・特定天井改修(準構造化：現状の見た目・音響性能を維持) ⇒法的対応、安全性確保	法規 安全面	・電動書庫更新 ⇒図書館機能存続のため必要	機能回復	(現状機能を維持)	—	(現状機能を維持)	—	(現状機能を維持)
	・空調設備更新 ・給排水設備更新 ・電気設備更新、全館LED化 ⇒LCCと合わせ可否検討	機能回復 安全面	・舞台設備更新 ⇒ホール機能存続のため必要	機能回復							
・既存不適格事項の改善	法規	・舞台照明LED化 ⇒LCCと合わせ可否検討	運営								
梅案 機能縮減	最低限の利用者安全の確保、法的要件を満たすための改修を行う。施設機能は一部縮減させることで、改修・運営等に係るコストを低減させる。										
	(竹案と同等)	—	・特定天井改修(準構造化のほか、安価な改修手法も検討)	法規 安全面	・電動書庫一部更新 ⇒今後数年に分けて更新(費用総額は変わらない)	機能回復	・展示室面積の縮小、収蔵庫化	縮減	(現状機能を維持)	—	(現状機能を維持)
			・舞台設備一部更新 ⇒建物耐用年数までには今後全面更新は必要となる	機能回復 縮減	・閲覧室の縮小、書庫化	縮減					
一部 廃止案	(竹案と同等) (機能維持をする箇所のみ)	—	・大ホール機能廃止	廃止	・閲覧室の縮小、書庫化	縮減	・展示機能廃止 倉庫化し、他部門の面積に充てる	廃止	・機能廃止 倉庫化し、他部門の面積に充てる	廃止	・カフェ機能廃止 ・研修室機能廃止
			・中ホール機能廃止	廃止	・収蔵庫の縮小(冊数縮減)	縮減					

概算費用：約38.8億円

白井市文化センター 概算算定一覧（竹案）

資料3-3

竹案：大規模改修により、劣化が進行している施設を開館当初と同等の機能まで回復させる案。その他利用者の安全性確保、法的対応（既存不適格事項への対応）に関わる改修を行う。

No.	分類	項目	内容	概算金額（単位：千円・10%税込）			備考	
				文化会館棟 （大ホール等）	図書館棟 （図書館/中ホール/郷土資料館/プラネタリウム等）	エントランスホール棟 （エントランス/カフェ等）		合計
1	躯体	・特定天井改修	①大ホール客席天井の準構造化	244,200	0	0	244,200	・類似物件より算出
2	建具・壁床天井	・劣化している箇所の補修 ・塗装、仕上げ材更新	①大ホール出入口扉のドアクローザー更新 ②外部鋼製建具塗装	6,400	700	0	7,100	
3	外壁	・タイルの剥落防止 ・庇モルタルの清掃、補修	①外壁タイルの調査、補修 ②外壁塗装面の調査・補修 ③外壁、外部建具まわりシール打替 ④屋上、屋根防水の更新、補修 ⑤外部足場架設・解体	85,800	124,300	14,300	224,400	・タイル補修は全タイル面積の1-2%で算出 ・クラック補修は1m/30-40㎡で算出 ・屋根防水は既存押さえコンクリート上から塩ビシート防水
4	空調	・空調設備の更新	①空調機器の更新 （冷却塔、冷温水発生機、HPチラー、AHU、PAC、FCU） ②送風機、排煙機の更新 ③自動制御機器の更新 ④冷温水、冷却水配管、ダクトの劣化調査	237,600	459,800	28,400	725,800	・鋼板製ボイラー、冷温水・冷却水ポンプは更新済みのため除く ・冷却塔、冷温水発生機、HPチラーは図書館棟に含む ・ヘッダー類、制気口類は既設再利用 ・配管・ダクト類は検査のみで更新は除く
5	給排水衛生	・給排水設備の更新	①給排水機器の更新 （受水槽、排水ポンプ、消火補助水槽、給湯機） ②衛生器具の更新、洋便器化 ③給水管、排水管の劣化調査	59,400	136,400	3,100	198,900	・加圧給水ポンプは更新予定のため除く ・CO2消火設備、消火器は除く（消防点検にて対応） ・配管は検査のみで更新は除く
6	電気	・電気設備の更新 ・全館のLED化	①電気設備の更新 （高圧引込、キュービクル、発電機、盤類） ②全館LED化 ③洋便器化に伴う電源工事	209,000	732,600	9,900	951,500	・ケーブル類は既設利用だが、接続箇所や損傷棟を考慮し、2m/器具1台を計上 ・ケーブルラック、バスダクト、配管、オイル配管、ボックス類は既設再利用 ・高圧引込、発電機は図書館棟に含む
7	防災	・既存不適格事項の改善	①EV3台リニューアル（文化会館棟1台、図書館棟2台）	146,300	141,900	0	288,200	・防災、弱電設備の機器更新は除外
8	舞台	・舞台設備の更新 ・舞台照明LED化	[舞台機構] ①吊物設備更新 ②迫り駆動部更新 ③制御盤・操作盤更新 ④幕類更新	435,600	24,800	0	460,400	
			[舞台照明] ①負荷設備：各種照明器具の更新・LED化 ②調光設備：調光盤・卓更新 ③移動器具：照明器具、効果器類、ケーブル類更新	385,000	68,800	0	453,800	
			[舞台音響・映像] ①スピーカー、アンプ更新 ②音響機器架 ③マイク、ケーブル類更新 ④ITV、連絡設備更新	217,900	55,600	0	273,500	
9	その他	・電動書庫更新	①図書館電動書庫の更新	0	54,300	0	54,300	・ブロック1一部部品は実施済みのため除く
合計				2,027,200	1,799,200	55,700	3,882,100	(⇒38.8億円)

※特記事項

- ・概算金額は10%税込、工事費のほか共通仮設費・諸経費等を含む ・2021年10月時点での概算金額に拠る（施工が数年後となるため、その際の物価上昇率等は考慮されない）
- ・施工時は1年程度の全館休館を行う想定とする（棟ごとの工事とする場合は日中の大きな音を伴う工事時間が限られるため、工期延長/夜間工事に伴う工事費増額が発生する可能性がある）
- ・配管類の劣化調査により更新が必要となった場合の費用は含まれない ・アスベスト、その他汚染物質（PCB等）の撤去費用は含まれない

## 文化センター改修費の財源について

第4回白井市文化センターのあり方検討委員会で示された文化センターの改修費の財源については、主に以下の方法が考えられます。

なお、地方債の借入条件等は実際の借入の際に再度精査することになります。

### 1 改修費として見込まれる38億8千万円の財源措置について

#### ケース1 市で改修費全てを調達した場合

<b>地方債(充当率75% 29億1千万円)</b>	<b>一般財源 9億7千万円</b>
----------------------------	------------------------

課題1 一般財源9億7千万円を措置するため、財政調整基金や公共施設整備保全基金を取り崩す必要がある。

令和2年度末基金残高:財政調整基金 約22億円、公共施設整備保全基金 約6億6千万円

課題2 地方債(市の借金)を償還するため、後年度に約年1億7千5百万円の負担が生じる。

#### ケース2 改修費の一部を民間資金で調達した場合(PFI制度の活用を想定)

<b>地方債(充当率75% 29億1千万円)</b>	<b>民間資金 9億7千万円</b>
----------------------------	------------------------

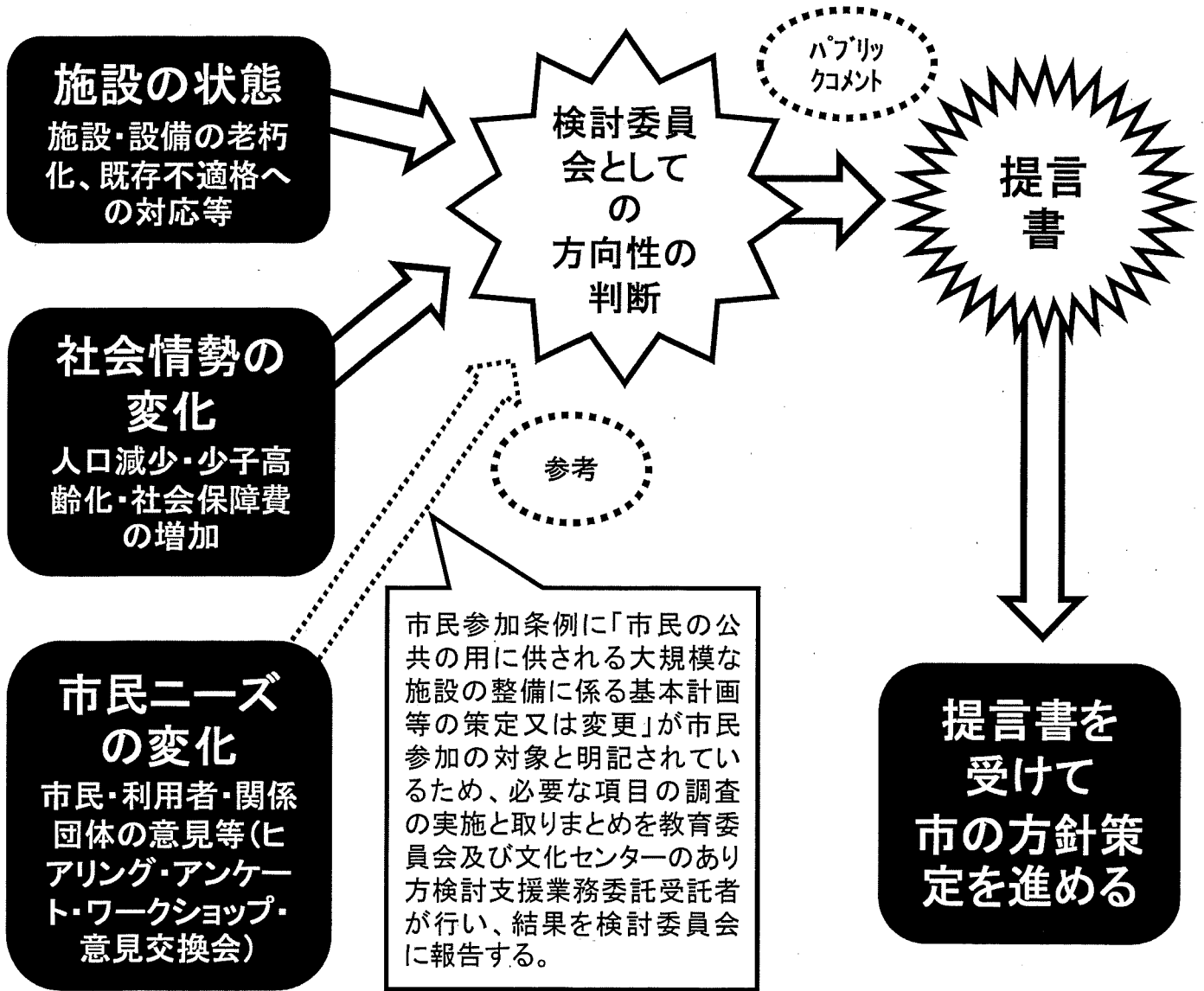
課題1 民間資金の9億7千万円の償還を10年とした場合、約年1億円の負担が生じる。

課題2 地方債(市の借金)を償還するため、後年度に約年1億7千5百万円の負担が生じる。

### 2 市の実施計画上の財源措置との比較

	市の計画	備考	ケース1	ケース2	備考
整備費	4億7千万円	設計・工事管理 会館天井・外壁	38億8千万円		会館天井・外壁・空調・給排水・電気等
地方債	4億2千3百万円	充当率90% *公共施設等耐震化事業を想定 *交付税措置あり	29億1千万円	29億1千万円	充当率75% *一般単独事業を想定 *交付税措置なし
一般財源	4千7百万円		9億7千万円	0円	基金活用が必須
民間資金	0円		0円	9億7千万円	
地方債償還額	2千5百万円 (年間)	20年償還 内元金3年据置	1億7千5百万円 (年間)	1億7千5百万円 (年間)	20年償還 内元金3年据置
民間資金償還額	0円		0円	1億円 (年間)	10年償還

# 検討委員会と市民参加の役割について



本資料は、検討委員会と市民参加の役割について、事務局としての考え方を図として示したものです。

# 白井市の財政状況

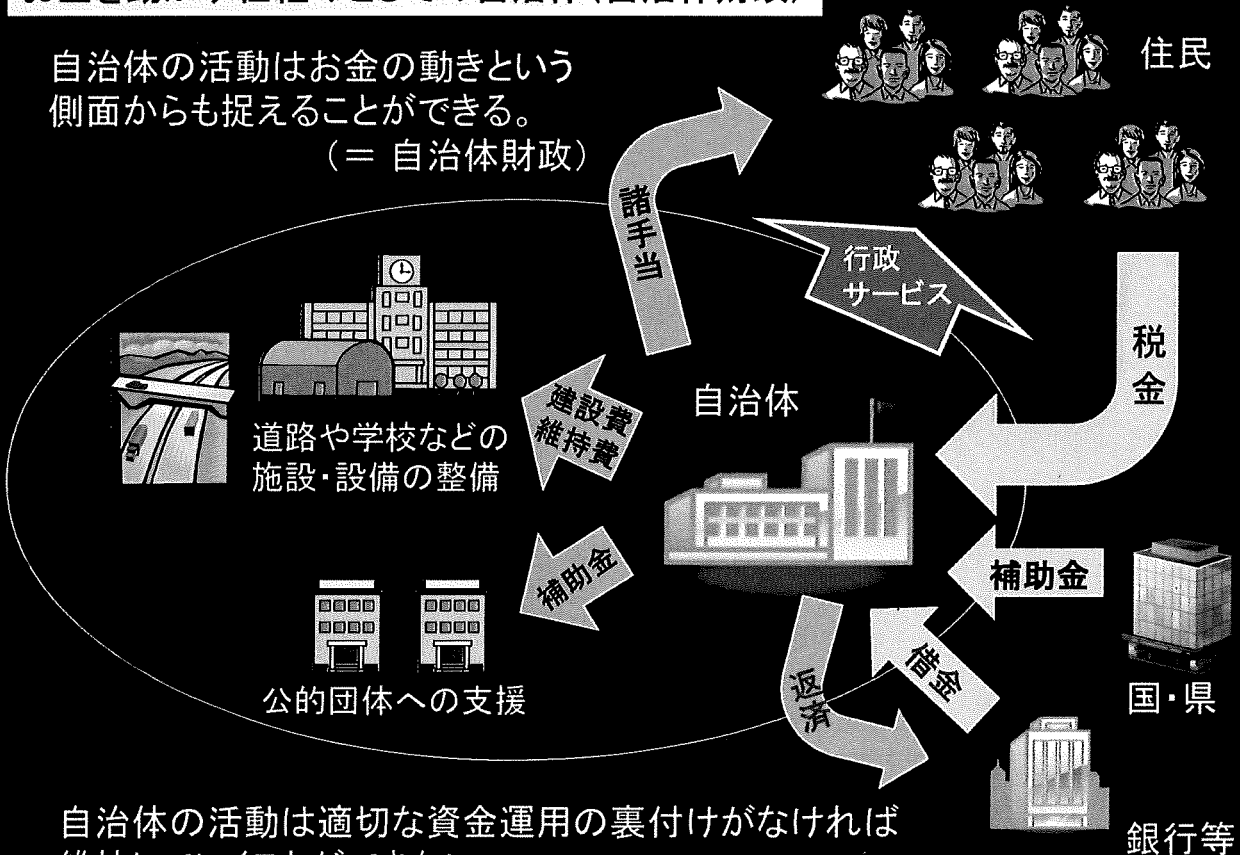
大塚 成男 (熊本学園大学大学院)

sh-ootsuka@kumagaku.ac.jp

R3.6.22

## お金を動かす仕組みとしての自治体(自治体財政)

自治体の活動はお金の動きという側面からも捉えることができる。  
(= 自治体財政)



自治体の活動は適切な資金運用の裏付けがなければ維持していくことができない。

**財政危機の多発** < >はH30年度の財政力指数 (白井市: 0.90)

- 2018年 2月 周南市(山口県) <0.79>、緊急財政対策
- 2018年11月 銚子市(千葉県) <0.60>、緊急財政対策
- 2019年 1月 涌谷町(宮城県) <0.38>、財政非常事態宣言
- 2019年 8月 小郡市(福岡県) <0.67>、緊急財政対策
- 2019年11月 相模原市(神奈川県) <0.90>、行財政構造改革プランの策定
- 2020年 2月 杵築市(大分県) <0.34>、緊急財政対策
- 2020年 2月 村田町(宮城県) <0.44>、財政非常事態宣言
- 2020年 2月 日野市(東京都) <0.97>、財政非常事態宣言
- 2020年10月 新座市(埼玉県) <0.91>、財政非常事態宣言
- 2021年 2月 裾野市(静岡県) <1.06>、財政非常事態宣言



地方財政をめぐる状況は厳しい。  
特に財政力指数が大きい団体の財政が悪化している。

3

**【財政危機に陥った自治体の共通点】**

- ・負債の負担は大きいわけではない。債務の返済ができなくなったことによる財政危機ではない。(夕張市とは異なる)
- ・実質単年度収支(基金の取崩しを除いた収支)の赤字が続いている。すなわち、毎年度の歳出をその年度の歳入で賄うことができていない。
- ・経常収支比率(通常収入のうち、毎年繰り返される活動で使われる支出の割合)が非常に高い。財政上の余裕がまったくない。
- ・財政調整基金が大きく減少している。過去からの貯えが失われてしまう危険性が高くなっている。

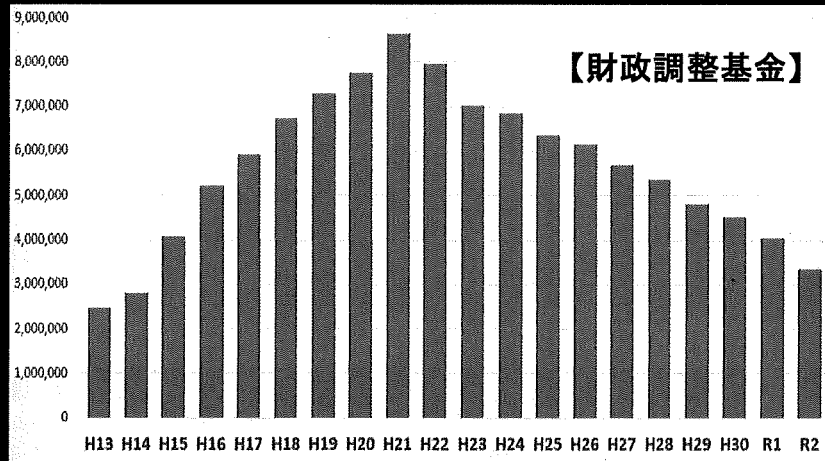
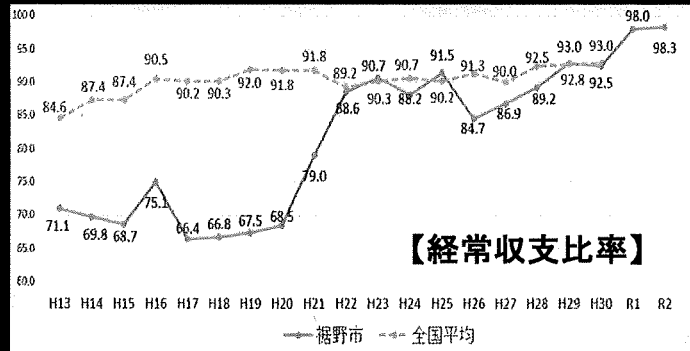
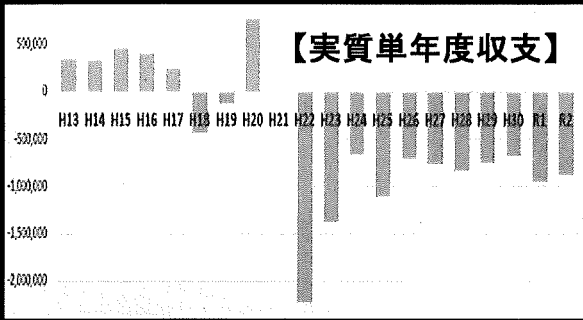


歳出(経費)を減らすことができないための財政危機

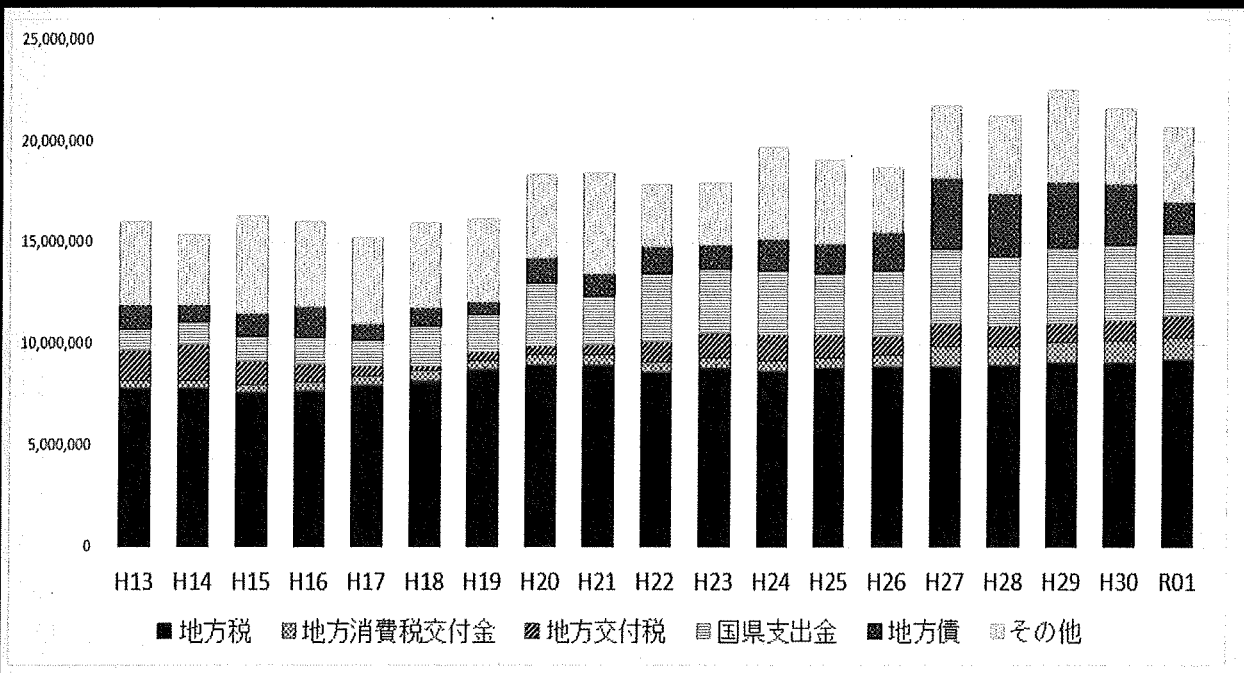
現状の自治体の財政において問題になるのは負債の大きさではない。  
減らすことができない経費(固定的な経費)の増大である。

4

## 裾野市の財政状況



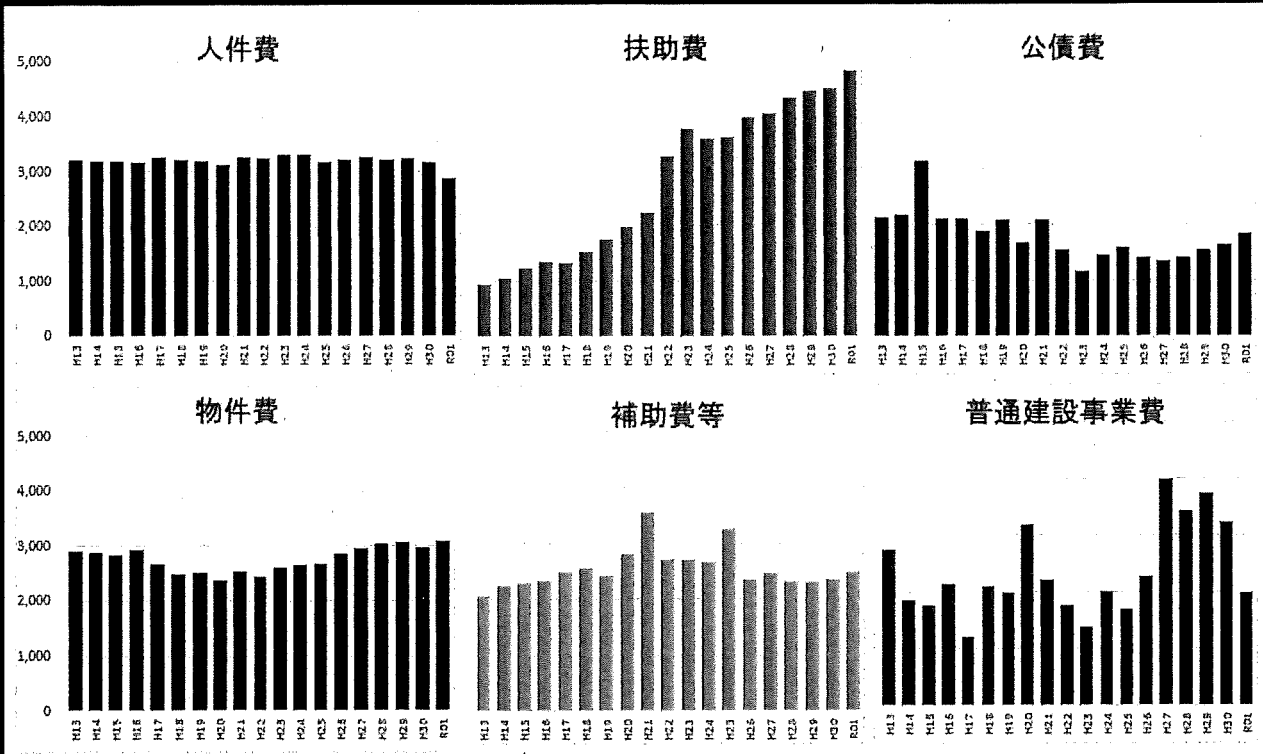
## 白井市における歳入の変化



白井市の最終総額は増加しているが、税収が増加しているわけではない。国県支出金(補助金)と地方債による収入が増加している。

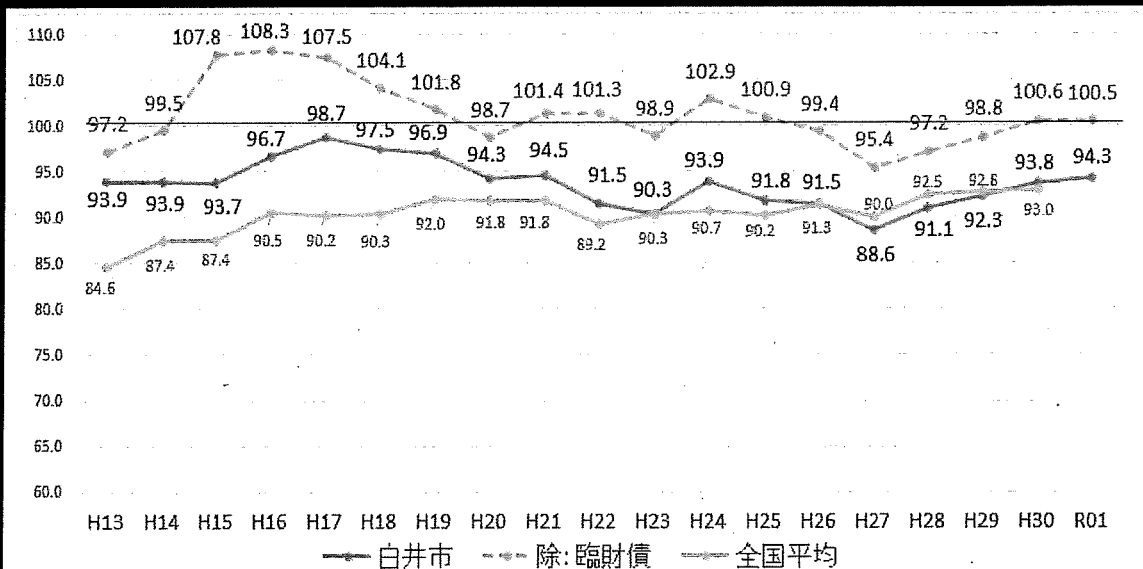


# 白井市における歳出の変化



扶助費(社会福祉のための費用)が5倍近くに増加。物件費も増加傾向にある。

# 白井市の経常収支比率 (建設事業等を除外した収支の状況)

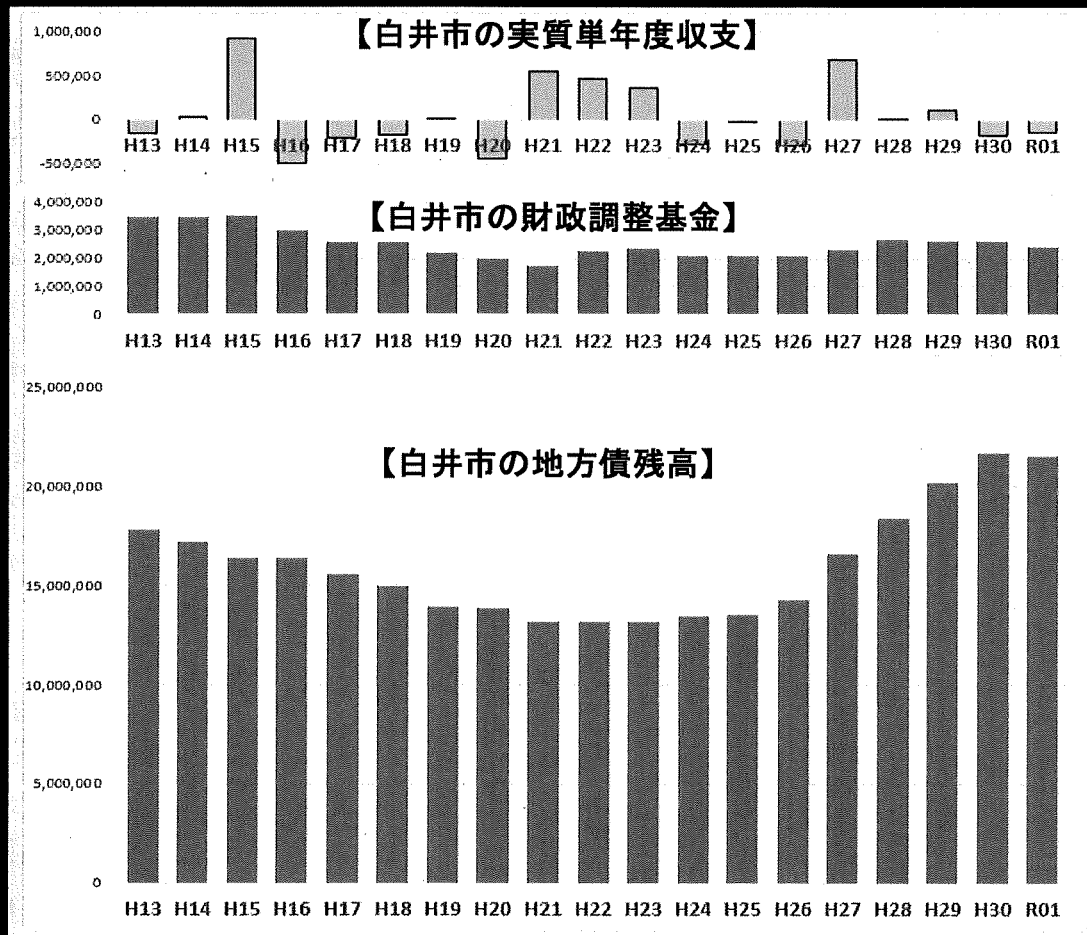


白井市における余力  $100\% - 94.3\% = 5.7\%$

経常一般財源等  $120\text{億円} \times 5.7\% = \text{約} 6\text{億}8000\text{万円}$

経常一般財源等に算入されている臨時財政対策債  $\text{約} 7\text{億}4000\text{万円}$

実質的な余力  $6\text{億}8000\text{万円} - 7\text{億}4000\text{万円} = \Delta 6000\text{万円}$



9

### 白井市の財政状況

- ・歳入総額は増加しているが、財政的な負担となる収入が多く、財政運営が難しくなっている。
- ・日常的な経費の負担が増加傾向にあり、将来的には、現在の財政では賄うことができなくなる危険性がある。
- ・収支が大きく悪化しているわけではないが、その背後で、地方債が増加しており、将来負担が大きくなっている。



将来世代の負担を増加させないための対策が早急に必要。

白井市に求められているのは「身の丈に合った」財政運営である。ある政策の採択が他の政策の不採択につながることを意識して、「あれかこれか」という視点から望ましい財政運営を考えるべき。